

## 第3学年1組 英語科 学習指導案

日 時：令和6年11月15日（金）第5限  
指導者：高 颯希（ベーシックコース）  
場 所：多目的教室2

### 1 単元名 Unit 5 A Legacy for Peace

### 2 単元の目標

関係代名詞や後置修飾の表現を正しく運用しながら、日本のことが大好きな ALT や NZ の生徒に尊敬できる日本人を紹介するために、その人に関する事実、気持ちを整理し、言語活動を通して、まとまりのある内容を書くことができる。 **【書くこと】**

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【知識】</b> 関係代名詞 <b>who,that,which</b> の主格、目的格、後置修飾の意味や形、用法の理解している。 <b>【技能】</b> 関係代名詞 <b>who,that,which</b> の主格、目的格、後置修飾の意味や形、用法の理解を基に、日本の偉人を紹介する技能を身につけている。	日本のことが大好きな ALT や NZ の生徒に日本の偉人を紹介するために、その人に関する事実や気持ちを整理し、自分の関心のある事柄について、まとまりのある内容を書いている。	日本のことが大好きな ALT や NZ の生徒に日本の偉人を紹介するために、その人に関する事実や気持ちを整理し、自分の関心のある事柄について、まとまりのある内容を書こうとしている。

### 4 指導に当たって

#### (1) 教材観

本単元では、インド民族独立運動の最高指導者であるガンディーを扱った内容である。ガンディーの非暴力を基本とした独立運動の内容を通して、「理不尽なことに屈しない心」「暴力に訴えない行動」について深く考えられる教材である。単元末の課題に向け、本単元では、後置修飾を用いて人や物について詳しく説明する方法を学ぶことができる教材である。後半部分では、関係代名詞 **who, which, that** について扱われており、人や物について説明を加える表現を学ぶことができるため、人物紹介でより詳しくその人の説明をすることができる教材である。

#### (2) 生徒観

当日の指導案集をご覧ください。

#### (3) 指導観

本単元では、ガンディーがどのように独立運動をしたのか時代を追いながら学ぶ。単元末には、自分の尊敬する日本人について書くため、単元を通してどのように人物について詳しく説明しているのか本文から学び、生徒自身が必要とする表現を自ら取捨選択し取り入れることが

できるようにしたい。また、本文ではガンディーの人物像の紹介を関係代名詞 **who** や後置修飾を用いているため、人物について詳しく紹介されている。抗議運動の内容については関係代名詞 **which** や **that** を用いて詳しく書かれている。これまでの、人物の簡単な紹介だけにとどまらず、今回の単元を通じて自分が尊敬する人物について詳しく説明し、まとまりのある文章を関係代名詞などを用いて表現できるようにしたい。そのために、関係代名詞と接続詞を用いない文章と見比べ、どちらが読みやすいかを生徒自身が気づくことのできる活動を行いたい。お互いの作品を読み合う際には、相手に分かりやすい文章かどうか読むときの視点を与え、生徒自身で文章の構成に気づくことができるようにする。

また、「川北中学校 CAN-DO リスト」の「日常的な話題や関心のある事柄、社会的话题について、まとまりのある文章を書くことができる。【書くこと】」という目標を全員が達成するために、リライト活動や表現の指導において、個に応じた指導を行っていききたい。

## 5 指導と評価の計画（総時数 10 時間）

次	時	学習活動 ねらい (■)、言語活動 (丸数字)	知 技	思 判 表	態 度
一	1	<p>■ALT の尊敬する人物についてのスピーチを聞き取り、単元末課題の内容を理解し、単元の見通しを持つ。</p> <p>①ALT の紹介を聞き取る。</p> <p>②ALT の紹介内容を全体で共有する。</p> <p>③紹介する人を決め、その人について、英語で話してみる。</p> <p>④自分たちに足りないものを認識し、単元についての見通しを持つ。</p> <p>⑤Unit5-1 のスピーチを聞き、ガンディーについて聞き取る。</p>		○	
	2	<p>■Unit5-1 を読み取り、後置修飾の用法の使い方を理解し、正しく運用することができる。</p> <p>①前時の内容を復習する。</p> <p>②Unit5-1 で見られる後置修飾の用法の文の意味、用法を理解する。</p> <p>③尊敬する人について紹介するために、後置修飾の用法を用いながら、クラスメイトについて ALT に紹介する。</p> <p>④話したことを後置修飾の用法に気をつけながら正しく書く。</p>	○		
二	1	<p>■ガンディーについて聞き取り、本文を参考にしながら関係代名詞 <b>who</b> を用いてクラスメイトについて詳しく書くことができる。</p> <p>①ガンディーについての <b>oral introduction</b> を聞き、理解を深める。</p> <p>②<b>comprehension question</b> を解き、ガンディーについて内容を理解する。</p> <p>③関係代名詞の <b>who</b> が含まれた文に注目し、関係代名詞 (主格) の使い方、意味を推測し、議論しながら理解を深める。</p> <p>④関係代名詞 <b>who</b> を用いながら、クラスメイトについて ALT に紹介する。</p> <p>⑤話したことを関係代名詞 <b>who</b> に気をつけながら正しく書く。</p>	○		
	2	<p>■関係代名詞や後置修飾を復習しながら、二つの言語形式を正しく運用し、人物について詳しく書くことができる。</p> <p>①ALT の <b>small talk</b> を聞き、彼女が川北中学校の先生たちについて知りたがっていることを理解する。</p> <p>②既習の関係代名詞を用いて、先生たちについてペアで紹介し合う。</p> <p>③二つの関係代名詞の使い分けについて必要に応じて復習する。</p> <p>④紹介した内容を Chromebook で録画し、オクリンクで共有する。</p> <p>⑤話したことをワークシートに正しく書く。</p>		○	○
三	1	<p>■Read&amp;Think1,2 を読み、時代の流れに気をつけながらガンディーについて読み取ることができる。</p> <p>①Oral introduction を通して、ガンディーについて情報を聞き取る。</p>		○	○

		②本文内容の <b>comprehension question</b> を通して、内容を理解する。 ③ <b>comprehension question</b> について、グループで理解を深める。 ④グループの意見を全体で議論し、本文内容を理解する。 ⑤必要に応じて、教師によるフィードバックを受け、再度本文内容について協議する。 ⑥課題について自分の意見を書く。			
	2	■関係代名詞について、理解を深め、人物だけではなく出来事についても詳しく書くことができる。 ①前時の内容を振り返る。前時に取り扱っていないページの内容を復習する。 ②関係代名詞 <b>which,that</b> の(主格)、(目的格)の意味、使い方を理解し、本文内容をより詳しく理解する。 ③塩の行進や非暴力の抵抗について、話しながらペアで説明する。 ④課題について自分の意見を書く。		○	○
四	1	■ <b>Read&amp;Think1,2</b> の内容や表現を参考にし、尊敬する人物について調べ、英作文を書くことができる。 ①内容や表現に関して参考にできる箇所を探す。 ②表現に関して参考にできる箇所を探し、全体で共有する。 ③内容と表現を参考に、英作文を書き始める。		○	○
	2	■尊敬する人物について英作文を書き、内容を再構築することができる。 ①本、インターネットなど調査方法を自分で選択し、英作文を書く。 ②ALT のモデルや他の生徒のものを共有し、内容や表現を再構築する。 ③内容や表現を取捨選択し、英作文をリライトする。		○	○
	3	■尊敬する人物について英作文を書く。 ①前時の続きで、リライトを行う。 ②書き終えた英作文について、グループで <b>peer editing</b> を行う。 ③言語形式についてリライトする。		◎	◎
	4	■間違いを理解し、リライトする。 ①ALT の添削をもとに、ミスを自分で分析し、正しく書く。 ②単元末の振り返りを行う。		○	○
後日		ペーパーテスト		◎	

第一次から第三次までは、毎時間のねらいに即して生徒の活動の様子を把握し、指導に生かす評価(○)を行う。第四次では、記録に残す評価(◎)を行う。

## 6 学校研究との関わり

### ◇視点Ⅰ 生徒一人一人の可能性を引き出す工夫

- (1) ペアやグループ活動での学び合いの場面ではその目的を明確にし、生徒の必要に応じて個々に支援を行う。
- (2) 長文読解の際には教師が支援の必要な生徒に重点的な指導ができるように **Chromebook** のデジタル教科書を使うこと、ヒントカードを見ることや音声を聞きながら本文理解を行えるようにする。

### ◇視点Ⅱ 自己決定の場の工夫

- (1) 生徒が紹介する人物や、その人物に関する事実を調べる方法を自分で選択できるようにする。
- (2) 読む活動では、ヒントカードやワードリスト、着目すべき文に印がある本文など、必要に応じて活用するものを自分で選択できるようにする。
- (3) 既習の接続詞や関係代名詞などの適切な表現をクラウド上で共有し、生徒自身で、既習事項から適切な表現を選択できるようにする。

7 本時の学習（第三次 第1時）

(1) 小単元名 Unit 5 Read and Think1,2

(2) 本時のねらい

- ・時代の流れに注目し、ガンディーについての社会的事実を読み取り、情報を捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・時代の流れに注目し、ガンディーについての社会的事実を読み取り、情報を捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

(3) 本時の展開

配時	○主な学習活動 ・予想される生徒の思考や発言 下線生徒が ICT を活用する場面	*教師の関わり ◇研究の視点 ☆評価【観点】(評価方法)				
つかむ (5)	○教員による Oral Introduction を聞き、ガンディーについて理解する。 ・当時は人種差別がひどかったのか。 ・なぜガンディーは、すごいと言われているのか。 ・塩の行進とはどのようなことだろうか。	*当時の様子がわかるように写真を見せ、ガンディーがどのように人種差別をなくしたのか生徒に問いかけ、本時の活動につなげる。				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding: 2px;">課題</td> <td>ガンディーはなぜ抗議運動をしたのか、また、それについて、どう思うか</td> </tr> </table>			課題	ガンディーはなぜ抗議運動をしたのか、また、それについて、どう思うか		
課題	ガンディーはなぜ抗議運動をしたのか、また、それについて、どう思うか					
ふかめる (35)	<p>○introduction を聞いて、教科書本文を読みたいページを決める。 ・弁護士時代のガンディーについて知りたいから p.76 を読みたい。 ・南アフリカの塩の行進について知りたいから p.77 を読みたい。</p> <p>○クラスの誰がどのページを読むか共有する。</p> <p>○新出単語を確認する。 ・discrimination はどのように発音するのだろうか ・デジタル教科書の音を聞いてみよう。 ・自分が読むページの単語の読みを読めるようになろう。</p> <p>○教科書の内容を読み、年代ごとにまとめる。</p> <table border="1" data-bbox="308 1592 1010 1906" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">南アフリカ</th> <th style="text-align: center;">インド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弁護士として 1893 年に働き始めた。</li> <li>・ ガンディーが運動のリーダーになって導いた。</li> </ul> </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イギリスがインドの塩に高い関税をかけていた。</li> <li>・ 抗議するために 400km 歩いた。</li> <li>・ thousands of people と書かれているから 1000 人の人が参加した？</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	南アフリカ	インド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弁護士として 1893 年に働き始めた。</li> <li>・ ガンディーが運動のリーダーになって導いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イギリスがインドの塩に高い関税をかけていた。</li> <li>・ 抗議するために 400km 歩いた。</li> <li>・ thousands of people と書かれているから 1000 人の人が参加した？</li> </ul>	<p>* 弁護士として南アフリカで活動をしたガンディーとインドで活動をしたガンディーの2つの視点があることを提示し、自分の興味・関心のある場面を選択するように伝える。</p> <p>* 黒板に誰がどのページを読むかわかるように名前を板書する。</p> <p>* 1 回目は生徒自身で読み方を推測しながら読ませる。 2 回目はペアで確認したり、Chromebook のデジタル教科書や Quizlet で音を確認したりするように促す。</p> <p>* 必要に応じて同じパートを読む生徒を黒板で確認し、移動して相談してもよいことを伝える。</p> <p>◇視点Ⅱ (2) 読み取りの言語活動の際に、ヒントカードやワードリストを用意し、必要に応じて自ら調べる方法を自ら選択し参考にすることができるようにする。</p>
南アフリカ	インド					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弁護士として 1893 年に働き始めた。</li> <li>・ ガンディーが運動のリーダーになって導いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イギリスがインドの塩に高い関税をかけていた。</li> <li>・ 抗議するために 400km 歩いた。</li> <li>・ thousands of people と書かれているから 1000 人の人が参加した？</li> </ul>					

☆時代の流れに注目し、ガンディーについての社会的事実を読み取り、情報を捉えている。

【思考・判断・表現】

(ワークシート)

★Cと判断される生徒への手立て  
机間巡視をし、生徒の必要に応じて単語の意味が分かるヒントカードをオクリンクを用いて送信する。

◇視点 I (1)

ペアやグループ活動での学び合いの場を設定し、生徒の必要に応じて個々に支援を行う。

☆時代の流れに注目し、ガンディーについての社会的事実を読み取り、情報を捉えようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

(活動中の様子)

★Cと判断される生徒への手立て  
読み取らなければいけない箇所をマーカーしたデジタル教科書の画像を送り、整理しやすいようにする。

\*写真やイラストにヒントとなるキーワードを入れて、何を表しているか分かるようにする。

○オクリンクにある写真やイラストを見て、年表のどの時代に入る写真か考える。

南アフリカ	インド
<ul style="list-style-type: none"><li>・㊤の写真は、弁護士時代の写真だから 1893 年のところに入りそう。</li><li>・㊦の写真は、法律が書かれているので 1906 年のところではないか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・㊤の写真は、塩の行進の写真に見えるから、1930 年が正しいと思う。</li></ul>

○本文の内容から、ガンディーの行動に尊敬できるといった部分にラインを引き、自分の考えを話す。

・ After walking almost 400 kilometers, he reached the sea.  
I think this march influenced many people in the world.

\*human rights などの考えを話すために使いやすい表現を仮書する。

ま と め る  (10)	○本時のまとめを行う。	＊本時の内容を自分の言葉で表現するように伝える。		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="268 250 386 309"> <b>まとめ</b> </td> <td data-bbox="386 250 1423 586"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガンディーは南アフリカにいたときにインド人差別にあった。インド人の人権を守るためにガンディーは非暴力の抗議運動を行った。暴力を使わずに差別を止めたのがすごいと思った。</li> <li>・インドでは、塩に高い関税をかけていたイギリスに対して、海まで歩く塩の行進を行った。また、非暴力による差別への抵抗を世界に広めた。</li> <li>・ After walking almost 400 kilometers, he reached the sea. I think this march influenced many people in the world.</li> </ul> </td> </tr> </table>			<b>まとめ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガンディーは南アフリカにいたときにインド人差別にあった。インド人の人権を守るためにガンディーは非暴力の抗議運動を行った。暴力を使わずに差別を止めたのがすごいと思った。</li> <li>・インドでは、塩に高い関税をかけていたイギリスに対して、海まで歩く塩の行進を行った。また、非暴力による差別への抵抗を世界に広めた。</li> <li>・ After walking almost 400 kilometers, he reached the sea. I think this march influenced many people in the world.</li> </ul>
<b>まとめ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガンディーは南アフリカにいたときにインド人差別にあった。インド人の人権を守るためにガンディーは非暴力の抗議運動を行った。暴力を使わずに差別を止めたのがすごいと思った。</li> <li>・インドでは、塩に高い関税をかけていたイギリスに対して、海まで歩く塩の行進を行った。また、非暴力による差別への抵抗を世界に広めた。</li> <li>・ After walking almost 400 kilometers, he reached the sea. I think this march influenced many people in the world.</li> </ul>			

<p><b>本時のねらいを達成したときの生徒の姿</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガンディーが南アフリカとインドで行った抗議活動について時代ごとに整理し、捉えている。</li> </ul> <p><b>人権尊重の視点に立ち学習活動を行ったときの生徒の姿</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と異なる意見や助言に対して、肯定的な反応をし合うことができる。自分と異なる意見を受け入れて、学習の内容を深めている。</li> </ul>
--